



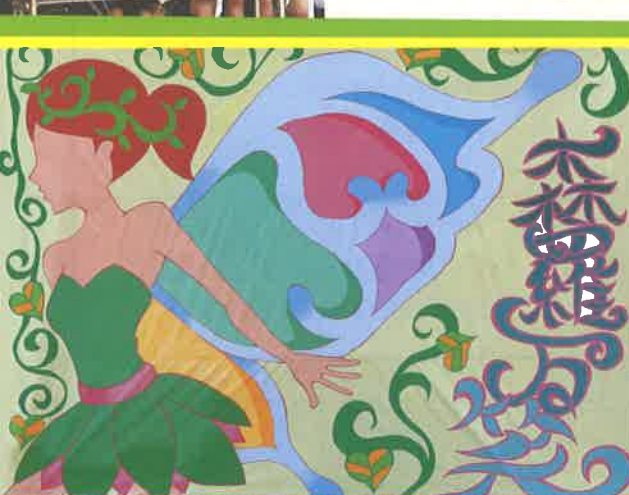
じょうほう 織部

平成28年度

第1号

10月1日発行
PTA広報委員会

大東高校PTA会報



PTA活動について

PTA会長 青木 誠

平素はPTA活動および運営について格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。早いもので、5月の運営委員会そして6月に開催されたPTA大会に始まる本会活動も半年がたち就職や受験に向かう前の大きな学校行事に寄り添うことができました。

9月初旬に行われました、織部祭も総務部を始め会員皆様のご協力をいただき無事に執り行われましたことお礼申し上げます。

様々な校内行事、キャリア教育、ボランティア活動や地域交流活動等を通じ、生徒、一人ひとりが主体性をもち、現状を把握し課題を見つけ、それらを解決していくことが重要になってきています。

勉強も生活もリズムをくずさないよう保護者の声かけ、見守りが必要になります。

勉学、部活動、文化、芸術的な機会により多く触れて、なりたい自分や夢を見つけ、その目標に向かっていく生徒達の成長を促すサポートができるよう、皆様の一層のご参加とご協力をお願い申し上げます。



左から今井校長、チーバ君、青木PTA会長



PTA大会オープニング

「地域とつながる」学校を目指して

校長 今井 靖

保護者の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より大東高校の教育活動、PTA活動にご支援とご協力をいただきましてありがとうございます。各委員会につきましても、いろいろと計画をして活動していただいておりますことに感謝を申し上げます。

保護者の皆様に様々な面でご協力いただいておりますが、今年は大東地区の保護者の皆様の協力で、校門前のカイズカイクキの剪定を業者に行っていました。道路に大きくはみ出していましたが、すっきりと剪定していただきました。また、学園祭では、恒例の総務委員会の皆さんによるカレーライスの販売があり、好評で生徒や教職員の長蛇の列ができていました。

大東高校として今年は、昨年まで雲南市全体で取り組んできた「地域でつなぐキャリア教育」をさらに発展させ、「地域とつながる」活動を積極

的に取り組んでおります。ボランティア活動への積極的な参加、地域活動への積極的な協力などを行っております。また、2年生の課題研究として、地域自主組織の皆様と協力して地域の課題の発見、解決方法の研究を行っております。初年度である今年は、研究方法の検討や生徒の事前指導を模索しながらの取り組みでしたが、生徒は地域自主組織の皆様や雲南市の方々に様々な形で協力いただき、研究を進めてきました。この取り組みは生徒にとっても貴重な体験となっておりますが、来年につながる成果と改善していくべき課題を得ることができました。引き続き「学力を鍛える」、「心身を鍛える」、「地域とつながる」を大東高校の3つの柱として取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、平成30年に迎える創立百周年事業は、各方面の皆様のご協力により、順調に進んでいることをご報告させていただきます。

総務

委員長 永瀬 敏行

総務委員会では、今年度も学園祭の初日(9月1日)に模擬店を出店し、カレーライスとジュースの販売を行いました。

模擬店を出店するにあたり、調理場所をどこにするのか、そして何食分準備すればよいのかなど前年度の状況を参考に第1回総務委員会で協議しました。その結果、今年度は調理室で切った具材を中庭まで運び大なべを使用して200食分まとめてつくることにしました。

当日は、担当の先生と総務委員が調理室と中庭の二手に分かれて準備を進めました。調理室では大量の野菜を手際よく切っていただき、また中庭では炊飯の準備と運ばれてきた野菜を大鍋で炒めました。ALTのシャノンさんも大鍋でのカレー作りに興味を持たれ、その様子を写真に収めたり、実際に野菜炒めを体験されました。

カレー作りも11時頃には終え、販売の準備にかかりました。さて、いよいよ販売の時間。カレーのいい香りに生徒、先生、保護者の方が大勢集まってくださいました。また、エプロンを身に着けた先生の威勢の良い掛け声もあり、大盛況の内に目標の200食を完売することができました。毎年の恒例行事とあって、みなさんに喜んでいただけたようです。本当にありがとうございました。

模擬店の出店にあたりご協力いただいた皆様には調理、販売、片付けなどご尽力を賜り、感謝申し上げます。



育成

委員長 宮川 浩二

大東高校PTAの皆様には、日頃より育成委員活動にご協力いただきましてありがとうございます。

今年度第1回目の育成委員会を7月4日に開催させていただきました。開会時間が少し早かったかとは思いましたが、みなさん都合をつけて参加いただきありがとうございました。報告事項として、生徒の学校内及び地域の方への挨拶は、素晴らしいとのことでした。私自身地元での仕事をしていますので、日頃から感じていたところでした。

スマホはたまに使用が見受けられ、親の呼び出しがあるとのことでした。また、車での送迎について近所の迷惑にならないよう配慮をお願いしたいとのことでしたので、皆様のご理解をよろしくお願いします。

また各地区からの報告をいただきましたが、特に問題はないようですが、木次地区においては、駅の掃除を行っているとのことでした。地域のために何かをするということは、非常に大切なことだと思います。

今年度の活動としては、加茂と大東の夏祭のパトロールを実施しました。昨年までは、木次及び穴道も行っていたようですが、今回は2か所で行いました。何れも特に異常はなく終わったと思います。

今後は、県道改良に伴う交通規制が実施されるようです。特に松江～木次線(大東地区)を自転車等で通学される生徒さんは、家庭内でも交通安全について注意していただきたいと思います。

今年もあと半年です。生徒が安心して学校生活がおくれるよう皆様のご協力をよろしく願いいたします。

広報

上半期を振り返って

委員長 石原 和浩

広報委員会では、今年度もPTA会報「じょうほう織部」を2回発行することにしております。今、第1号では春の入学式から織部祭までの生徒の活動の様子を特集してみました。

春には、希望を胸いっぱい詰めて、中学生からは少し大人になって大東高校に入学してこられました。学間に部活動、生徒会活動に先輩たちの意見を耳にしながら、一生懸命に過ごして来たことと思います。

そして夏には、今年はインターハイが地元の中国地区で行われました。近くでは尾原においてボート競技が行われ、本校からはボランティアとして生徒が参加していました。中には取材を受けていた人もいたようでした。

残念ながら今年は、大東高校からの参加は少なかった

ようですが、3年生は充実した部活動生活を過ごせたことでしょう。

3年生の最後のメインイベントの織部祭では、思いっきりはじめて楽しめたでしょう。今年は暑い夏でしたが、当日は曇り空で、見に来られた方々も過ごしやすかったかと思えます。

織部祭の中では、家庭クラブの生徒の方々が、かき氷を売り、その売り上げを九州で地震被害にあわれた方々に寄付され、多方面に活動されているようでした。

これからは、1・2年生は、各部活動、学習に励み、3年生は次のステップを目指し残りの学校生活をそれぞれの思いを込めて過ごしてくれたらと思います。

養老先生 来たる!



著書『バカの壁』等で有名な東京大学名誉教授 養老孟司先生の講演会を、島根県中山間地域研究センターのお力添えで9月1日に開催しました。前日には1・2年の理系に関心がある生徒22名に対して「考えること、学ぶことの意味」をテーマにした特別授業を行っていただきました。授業では「進路をどのように決められたのか」「部活動と勉強の両立はどのよう図っていけばいいのか」などの質問に対し、仕事に取り組んでいる内に、先生自身が変わっていったという体験を紹介され、だからこそ、将来を考えて何かをやるという考えではなく、「今やっていることを好きだと思い、とことん取り組む」ことこそが大切であると語られました。

生徒感想

2年女子

私は将来医療の道に進みたいと思っているので、養老先生の話を楽しみにしていました。私は部活動と勉強を両立させることを目標としているけれど、部活ばかりになっていて勉強があまり手についていません。養老先生は、「頑張って勉強する。」のではなく「好きだから勉強する。」と言われて、納得すると同時に「今の自分とは違うな。」と実感しました。私は好きな教科はとことんやるけど、苦手な教科はあまりやらないところがあるので、まず、「嫌い」をなくし「好き」を増やす努力をしていきたいなと思います。そして将来は養老先生と同じような考えを持つことができるような人になれるといいです。

2年男子

僕は、特別授業のなかで、先生がおっしゃった「全力でやれ!」という言葉が心に残りました。勉強と部活動の両立に関しても“どちらかを全力でやれば失敗がない”と言われました。僕は今どちらも全力になれていないので、このままだと後悔すると思いました。だから、もっと勉強に全力を出してみたいです。

養老 孟司 先生 意見交換・交流会 in 大東高校
テーマ『考えること、学ぶことの意味』
講師 養老 孟司 先生



地域課題研究



大東高校では、2年生全員が「総合的な学習の時間」を利用し、地域課題研究に取り組んでいます。地域課題研究とは、私たちの暮らす地域が抱える問題を、地域の方との交流やフィールドワーク等を通して発見し、その解決策を生徒自身が探求する取り組みです。

今年度は、2年生が24グループに分かれて、大東町・加茂町内の9つの地域自主組織にご協力いただき、それぞれの地区の課題に取り組み、その成果を文化祭でポスター展示とステージ発表という形で発表しました。

夏休みを使って様々なアクションが起きました。子育てイベントを企画運営した班、高齢者のお宅の掃除をお手伝いした班、小学生の勉強会を企画した班、防災リスト作成や防災に関する講演会を企画運営した班、空き家の掃除をした班、地域のPR動画を作成した班、丸子山の清掃活動をした班などなど。

その中から加茂地区の取り組みをご紹介します。「加茂の三代ぶどうの知名度が低い」という課題に対して、二つの班がそれぞれスイーツを考案し、地元菓子店で販売していただき、その知名度を上げるという取り組みをしました。写真の2種類のスイーツは、「菓子工房たてたに」様の技術支援があつて出来上がっ

たものです。大変お世話になりありがとうございました。

さて、今回高校生が考案したスイーツの一つは、マスカットと水まんじゅうを掛け合わせたものです。マスカットの瑞々しさとわずかな酸味がしっとりとした夏菓子に生きるオリジナリティ溢れるものです。また、タルトの方はそれとは逆に生地のサクサク感とのコラボが新鮮なものでした。

こうしたアイデアが高校生から提案され販売までいたるには、地域自主組織をはじめ、地域の方々のご協力がなくては不可能でした。改めて御礼申し上げます。そして、この地域課題研究が、地域の未来を変える可能性を示すものになってきていると感じています。



期間限定で販売されたシャインマスカルポーネの「水まんじゅう(上)」と「タルト(下)」(加茂地区)

県総体



インターハイ出場を目指し、各部の情熱が県下の各会場を疾走いたしました。結果、学校対抗で大東高校は下表にありますように、Bグループ2位となりました。

| Aグループ男女総合 | | Bグループ男女総合 | |
|-----------|-----|-----------|------|
| 1位 | 松江北 | 1位 | 松 徳 |
| 2位 | 大 社 | 2位 | 大 東 |
| 3位 | 明 誠 | 3位 | 隠岐島前 |



3-4 渡部春花(女子キャプテン)

私たち卓球部は、男子1名、女子10名で活動してきましたが、今年度の総体をもって廃部となりました。総体では、これまでの卒業生の方々の「思い」を胸に、全力で戦いました。結果は残念でしたが、これを糧に次のステップでも頑張りたいと思います。最後になりましたが、これまで根気強く指導をしていただきました外部コーチの伊藤さん、本当にありがとうございました。

空手部

3-3 藤原莉子(女子キャプテン)

私たち空手部は、女子団体組手の部において、県予選の決勝で松徳学院を大逆転の末破り、インターハイへの出場を果たしました。山口県で行われたインターハイでは、初戦の天童高校(山形代表)に敗れ全国大会の凄さを思い知らされましたが、かけがえのない素晴らしい経験になりました。

高校野球選手権島根大会



本校は第4シードでこの大会に臨みました。初戦の平田高校にはコールド勝ちしましたが、2戦目の立正大漕南高校に2-3で惜敗しました。

～前期行事～

- 4/8 第1学期始業式
- 4/9 入学式
- 4/20 遠足
- 4/28 生徒総会
- 5/25 芸術鑑賞
- 5/27～県高校総体
- 6/11 PTA大会
- 7/5 球技大会
- 7/22 第1学期終業式
- 8/22 第2学期始業式
- 8/24 オープンスクール
- 9/1～学園祭
- 9/16 生徒会長選挙

入学式



＊遠足 4/20(水)

1年



松江フォーゲルパーク・古代出雲歴史博物館

2年



鬼太郎ロード・とっとり花回廊

3年



藤山高原センター

芸術鑑賞会

5/25(水)



今年度は、奈良県明日香村を拠点として、国内はもとより海外での公演も行っている『倭』(YAMATO)による和太鼓演奏を鑑賞しました。途中の太鼓教室も含め、迫力のある演奏で90分があっという間に過ぎた午後の時間でした。ちょうど、週末からの高校総体を控えての時期だったこともあり、大会へ向けて勇気をもらうことができ、生徒にとって、貴重な体験となりました。

球技大会 7/5(水)



優勝

- 【バレー】 男子2-3 女子1-3
- 【ソフトボール】 男子3年B 女子1-3



オープンスクール

8/24(水)



部活動体験のようす



7月28日～8月1日の4日間、大東高校はのべ107名の生徒がインターハイボート競技のボランティアに参加しました。写真は受付業務の様です。

近隣の中学校を中心に、石見や県外の中学校も含め合計20校から中学生229名が来校し、本校の説明を聞いた後、部活動体験をしました。